様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和８年６月１２日

茨城県知事　　殿

提出者
住　　所　茨城県猿島郡五霞町小手指１８００
氏　　名　キユーピー株式会社　五霞工場
工場長　白井　健一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０２８０－８４－３１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので提出します。

事業場の名称	キユーピー株式会社　五霞工場
事業場の所在地	茨城県猿島郡五霞町小手指１８００
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業（０９）
②事業の規模	６８，４００ｔ/年
③従業員数	２５５　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：脱水後、発酵堆肥化（委託）またはバイオガス発電利用（有価） 廃プラスチック類：種類により分別圧縮後⇒RPF化又は路盤材として再利用（委託）又は有価物 廃酸：堆肥化・溶融スラグ化して再利用（委託）又はバイオガス化（有価） 動植物残さ：乾燥発酵堆肥化、肥料として再利用（委託） ガラスくず：溶融スラグ化して再利用（委託） 金属くず：破砕・圧縮して再利用（委託）又は有価物

茨城県
令 -8.6.19
県西県民センター
受付

（日本工業規格Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排　出　量	1,280.0ｔ	168.0ｔ
	（これまでに実施した取組） 汚泥：水使用量の削減、安定稼働。 凝集剤の変更、歩留り切り替えの見直しをしている。 廃プラスチック類：性状の変更、分別促進をしている、 破砕・圧縮による減容化を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排　出　量	1,254.4ｔ	164.6ｔ
	（今後実施する予定の取組） 汚泥 水使用の削減継続。処理施設の安定稼働（曝気・含水率改善） 歩留り改善、切り替えの効率化 廃プラスチック 資材の軽量化、リターナブル化、荷姿の変更		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	性状、形状　、種類、荷姿ごとに分別している。
② 計画	分別徹底を継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（　令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度　（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,280.0ｔ	168.0ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	161.6ｔ
	再生利用業者への処理委託量	1,280.0ｔ	168.0ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 汚泥は堆肥化、廃プラスチック類は固形燃料、スラグ化等、種類ごとに適正処理できる中間処分業者に委託している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
		全処理委託量	1,254.4ｔ	164.6ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	164.6ｔ
		再生利用業者への処理委託量	1,254.4ｔ	164.6ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
		（今後実施する予定の取組） 種類に見合った優良認定処理業者を選定する。 既存業者の定期現地確認は引き続き継続する。 バイオバスカ化処理の推進		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
	排　出　量	0.42ｔ	21.3ｔ
	（これまでに実施した取組） 歩留りロスを低減している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
	排　出　量	0.30ｔ	20.9ｔ
	（今後実施する予定の取組） 生産ラインと切り替えロスを見直し。 バイオガス化の推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	製造工程での発生と廃棄物の種類で適正に分別している。
② 計画	現状の通り

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃酸</td><td>動植物残さ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃酸</td><td>動植物残さ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃酸</td><td>動植物残さ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特になし。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃酸</td><td>動植物残さ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
	全処理委託量	0.42ｔ	21.3ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	0.42ｔ	21.3ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 再資源化できる業者に処理委託している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃酸	動植物残さ
		全処理委託量	0.30ｔ	20.9ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
		再生利用業者への処理委託量	0.30ｔ	20.9ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
		（今後実施する予定の取組） 堆肥化からバイオガス化へシフトする。 種類ごとの適正処理業者見直し選定。 収集および処分委託業者の定期現地確認を継続する。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	排　出　量	2.35ｔ	0ｔ
	（これまでに実施した取組） 金属くずを有価物化 歩留りロスを低減する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	排　出　量	2.20ｔ	0ｔ
	（今後実施する予定の取組） 資材容器の変更。荷姿の変更。リターナブル化。 資材ロスの軽減		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	製造工程と廃棄物の種類で適正に分別している。
② 計画	現状規定通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
	全処理委託量	2.35ｔ	０ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	0.42ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	2.35ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 適正処理可能な処理業者に委託している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず	金属くず
		全処理委託量	2.20ｔ	０ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	0.30ｔ	０ｔ
		再生利用業者への処理委託量	2.20ｔ	０ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
		（今後実施する予定の取組） 現行通り。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

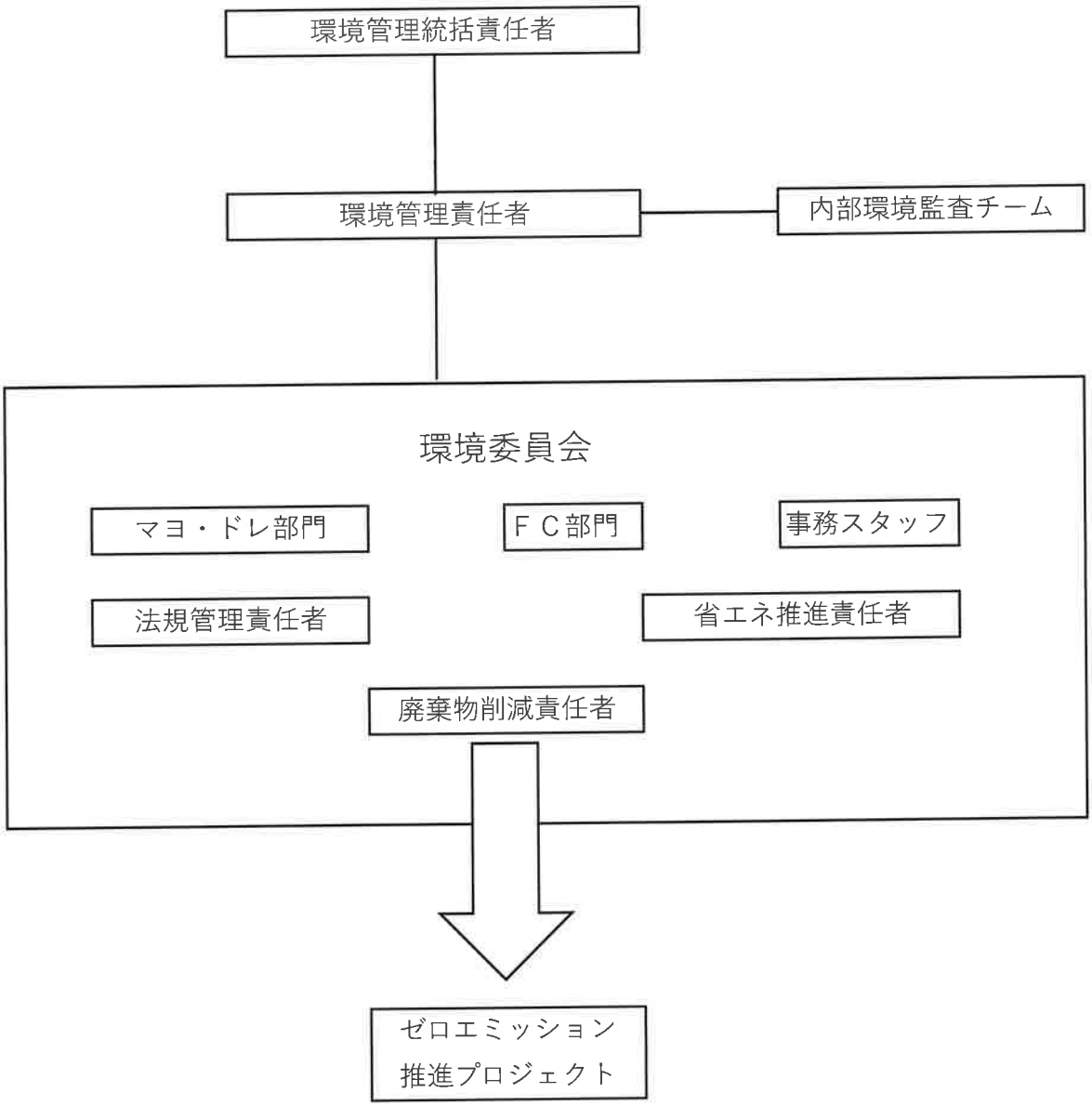
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

環境組織図


環境管理統括責任者
環境管理責任者
内部環境監査チーム
環境委員会
マヨ・ドレ部門
ＦＣ部門
事務スタッフ
法規管理責任者
省エネ推進責任者
廃棄物削減責任者
ゼロエミッション
推進プロジェクト

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（１）責任者及び環境組織図

責任者

総括責任者	所属：五霞工場　工場長
廃棄物担当者	所属：生産技術課　課長 組織人数：２人
ゼロエミッション 推進プロジェクト	・発生量の抑制、再資源化。経費低減策の提案と、運行体制の確立。 ・再資源化手法、再資源化委託先の調査・開拓。委託先との折衝。 ・再資源化委託の管理体制整備（分別方法、表示、委託基準、等） ・啓発、教育の実施（職場勉強会実施、社会貢献、場外の清掃活動、エコキャップ等） ・目標未達成、実施項目不徹底な部署への改善要望の提出。 ・その他、メンバーが必要と判断した事項。
環境管理 統括責任者	・廃棄物処理方針の策定。 ・工場の廃棄物管理規定の策定・改廃。 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認。
廃棄物管理 担当課長	・廃棄物処理計画の作成。 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討。 ・産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握。 ・処理業者、再生利用処理業者の調査、選定及び管理。 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付、整理。 ・監督官庁への各種報告 ・その他関係する事項。